

MALDI Quick 微生物同定試験

従来の同定検査とは全く異なる MALDI/TOFMS を用いた微生物同定試験です
1 営業日で正確性の高い同定結果をご報告いたします

MALDI/TOFMS による微生物同定試験とは？

MALDI/TOFMS はサンプルにレーザーをあて、イオン化させる MALDI(Matrix Assisted Laser Desorption/ Ionization: マトリックス支援レーザー脱離イオン化)の過程と、続いてそのイオンを検出する TOFMS (Time of Flight Mass Spectrometry: 飛行時間型質量分析法) の過程に分かれます。

MALDI/TOFMS による菌種同定では、被検菌の蛋白質のマスペクトルと、ライブラリー内の菌種のマスペクトルデータとのパターンマッチングにより菌種同定を行います。迅速で 16S rRNA シークエンス解析と高い一致率を示すことから、多くの検査機関で遺伝子配列決定法に変わる方法として採用され始めています。

検体

分離株 (非選択培地に 1 日培養し、純培養にした菌株)
※純培養されていない場合、純培養化までのお時間 (2-3 営業日) と培養手数料 (1,000 円 (税別)) を頂きます

検体送付方法

平板培地に培養した菌株を常温でお送り下さい
冷蔵にて保存されていた菌株は、継代し 1 日培養した後 常温にてご送付下さい

価格

5,000 円 / 1 検体 (税別) ※1 日培養で純培養の状態の場合

納期

1 営業日 ※平板上に複数菌種が混在する場合やコロニーの発育が不良な場合は、状況に応じ 2-3 営業日のお時間を頂きます

報告

MALDI Biotyper での定型フォーマットによりメールにてご報告いたします

ブルカードルトニクス社製 MALDI Biotyper に搭載される約 4,000 菌種のライブラリーに、実中研 ICLAS モニタリングセンター独自に評価、構築した動物由来細菌ライブラリーを加えたものを使用し同定を行います。また当センターでは日々ライブラリーの充実化を進めています。

1. サンプルの状態により解析ができない場合には、状況をご報告させて頂くとともに作業費用の全額をご請求いたします。
2. 試験では被検菌の蛋白質のマスペクトルと、ライブラリー内の菌種のマスペクトルデータとのパターンマッチングにより菌種同定を行います。このことから、登録菌種と異なる菌種であっても、被検菌が類似したパターンを示した場合、その登録菌種が同定結果として得られる場合があります。
- ※例) 菌量が少ない場合 (コロニー数、菌体のサイズ、死菌が多いなど)、サンプルがライブラリーに登録のない菌種の場合

ご依頼・お問合せ: mquick@ciea.or.jp

公益財団法人 実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター MALDI Quick 担当

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3 丁目 25 番 12 号

TEL: 044-201-8525

URL: <http://www.iclasmonic.jp>

ICLAS
Monitoring
Center

CIEA
SINCE 1952